

## 地域課題解決コンテスト

# 邑久高チーム最優秀

山陽学園大

高校生による地域課題解決などの取り組みを表彰する「地域マネジメントコンテスト」（山陽学園大主催）が4日、岡山市中区平井の同大などで開かれた。最優秀賞には、イタ。

昨年に続き2回目の開催で、7校17件の応募の中から書類審査を通過した4校5件の取組みが、各校からオンラインで発表され、有識者ら7人が審査した。イタ。

邑久高のチームは、効果的に捕獲するため、の餌や手法を田んぼなどで実験。段ボールと米ぬかなどを組み合わせた「スクミリ」が有効であることを立証した。

優秀賞は2件で、ハインセンの国立療養所がある地元の瀬戸内市・長島を訪れる教育研修プログラムを提言した「橋の向こうへ」（邑久高）と、ワクチンの検査などとして不可欠なカプトガニの血液を笠岡市で採取・供給する構想の「カプトガ

二牧場」（笠岡商高）。山陽学園大の中村聡志・地域マネジメント学科長は「地域での学びが深く、取り組みを継続させる工夫もされていて、素晴らしい」と総評した。他の表彰は次の通り。

岡山商工会議所会頭賞 「矢掛町SDGsカードを広めよう！」（矢掛高）▽奨励賞 「倉敷・金光 将棋散歩」（金光学園高）（岡山一郎）



各校とオンラインで結んで開かれた地域マネジメントコンテスト。岡山市中区平井、山陽学園大